

集落活動センター いしはらの里

いしはらの里 協議会

全体の進捗の把握、調整、決定を行う（3ヵ月毎程度に開催）
会長：筒井良一郎
役員：部落3役、議員、部会3役、消防分団、婦人会、石原生改、クラブ高嶺、老人クラブ、こども会ほか→地域全体へ

まずは ここから

連絡会

各部会間の調整と提言を行う。⇒各取組の「重なり」を調整する
実働部隊として、身軽に活動する（月1回程度の開催）
構成：事務局（応援隊）、部会長、部会副会長など

【直販】

- 直販所の開設や加工品など
- 5月3日に直売・試食会「まると石原よさく市」を開催

【共同作業支援】

- 作業支援や耕作放棄地、鳥獣害の解消など
- 作業をまとめ雇用に繋ぎ？

【新エネルギー】

- 小水力、太陽光発電など
- 資源活用、基礎的資料など
- 大学等、研究機関等と連携？

【集い】

- 集いの場づくり
- あったかふれあいセンターや、保育所でのデイ

石原で暮らし続けるために 「働く・稼ぐ」 仕組みをつくる

直売所 （地域産品の加工・活用）

石原のものの直売・加工販売
ひと：直売に取り組みたいものを中心に
場：種類の調整を支援員に？
場所：伝吉さんの田んぼ、モーターズ？
⇒まずは簡易なものから
いつ：GWへのテスト販売を目指す
⇒4月中に準備、勉強会など
方法：試験的販売から順次拡大
集荷や生産計画、ニーズ把握など

新エネルギーの活用（売電等）

温泉、五右衛門風呂、マキ風呂など
再生可能エネルギー発電の街灯・売電
場所：温泉を旧小学校に？
北郷口での小水力発電など
いつ：まずは情報把握から
方法：試験的販売から順次拡大
集荷や生産計画、ニーズ把握など

民宿（農家民宿など） 民泊、宿泊所

旅館跡や保育所、旧郵便局の活用
旧小学校の教室を活用
場所：旧小学校は2〜3年後に？
保育所、郵便・旅館跡の活用
いつ：24年度に研修・勉強会など
方法：民泊や森の集荷の体験などを通じてイメージづくりをしていく

■「何のために稼ぐのか（目的）」、「どれくらい稼ぐのか（目標）」を
考えていくことが必要
■「ありのままの田舎」「田舎でな
いと体験できないもの」を提供して
いくことが大事

石原で／石原を 「支える」

人的支援 （農作業等の手伝い）

作業の支援・代行の派遣⇒雇用へ
場所：拠点（旧小学校）を事務局に
いつ：自分たちですぐにでも始める
方法：支援員が情報を集約・マッチング

生活サービスの維持 （JA店舗サービスの維持等）

SS・肥料販売の維持等
店舗・周辺設備の活用等
場所：JA生活店舗を中心に
いつ：4月以降
方法：ニーズ把握（アンケートの実施）
休憩スペース（集い）の設置等

在宅高齢者や子育て支援 病院・診療所など

子育て支援の充実：小児診療など
病院・診療所：在宅診療・診療科目
ひと：行政や専門機関との協力必要
場所：旧保育所の活用？
いつ：すぐに取られかねない部分少ない？

■10年後には、支える側より支え
られる側が多くなっていく
■こどもが生活できる、帰ってきや
すい／住みやすい環境に

石原を暮らしやすい環境に／ 石原に来てもらえる環境にする 石原を「実現する」

地域資源の研究・活用

山菜や木材、自然、神社、
地域的資源などの活用
ひと：専門家の助言が必要な場合も
いつ：1年目は情報収集から
方法：情報発信（ブログ、観光マップの
作成）など、地域でできるものから

学校・研究機関の受入 （研究や合宿等の誘致）

合宿・部活、農村留学等の誘致
山師の学校⇒担い手の育成など
場所：学校・旧保育所を活用
いつ：この夏から少しづつ
方法：専門機関（大学等）と提携
⇒学生を地域に呼び込む
⇒新しいアイデアを地域に

学校施設の整備・改修

宿泊施設や避難所、拠点施設として
⇒水周りやトイレ、バリアフリー化
ひと：地区で整備案を考えていく
いつ：1年目から形をえていく
⇒工事を終了するに取れかねない

周辺環境の整備・改修

個々の取組に必要な環境整備
⇒学校や川、山道、案内板など
方法：できるところは自分たちで始める

■地域の資源を活用し、「いまいる
人が楽しく生きられる」「地域外の
人を呼び込む・帰ってこられる」右
隣にするための研究・環境整備

各部会の連携・協力が大事！

事務局

■高知ふるさと応援隊（集落支援員、地域おこし協力隊） ■事務所：旧小学校

サポート

■土佐町役場（全庁横断的に） ■支援機関（土佐町社協など） ■高知県庁（地域支援企画員、支援チームほか）

■人の「集まり」の維持が、集落活
動センターの肝となる

神社・寺社、公園、自然での「集い」
公園や神社・寺社、自然の活用
場所：高嶺・河内・龍神社、地蔵寺
葉師堂、公園、陣ヶ森、押ノ川等

集会所・保育所での「集い」
高齢者デイやカルチャースクールなど
場所：旧保育所や各集会所など
いつ：保育ミニデイなどの拡充から
方法：送迎の補助や人材育成が必要

「空き店舗」での集い
旅館・旧郵便局などの活用
⇒昭和レトロ喫茶や居酒屋、宿泊
建物の「特性」を活かしながら
場所：旭屋、くらや、旧郵便局など
いつ：旧小学校を中心に周辺の活用から
方法：建物を活かして「街並みの再構成」

JA店舗（倉庫など）や
直売所での「集い」
直売所＋喫茶コーナー
集出荷場を兼ねる一人在る
場所：直売所、JA肥料倉庫あと
いつ：直売所開始と並行して
方法：出荷や買い物に来た人が「集う」

旧小学校での「集い」
地域の人が集まる居酒屋・喫茶・教室
地域外の人の宿泊・合宿の受入
いつ：まずは1F部分の活用から
方法：いろいろな人が集う複合施設に
⇒周辺施設への波及効果を

石原を元気にする 石原での「集い」